

クラウド録画型ウェアラブルカメラ

Safie Pocket2 Wide

操作説明書

v1.0.1

- この度はSafie Pocket2 Wideをご利用いただき、誠にありがとうございます。本体を操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくご利用ください。また、お読みになった後も、必ず保管してください。
- 本説明書で使用している画面は、ソフトウェアのバージョンの違い等により実際の製品と異なる場合があります。
- 本体のファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が予告なく変更となります。

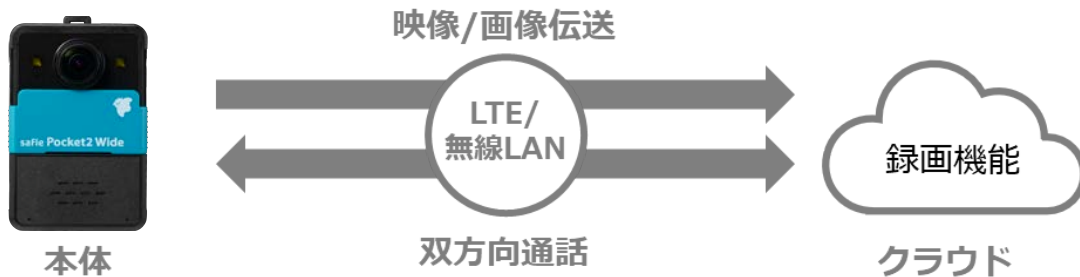
1. 目次

1. 目次	2
2. 製品概要	4
3. お使いになる前に	4
付属品の確認	4
各部の名称と役割	5
各LEDの状態表示	6
製品仕様	7
4. 電源を入れる/電源を切る	9
5. 映像を録画する	9
録画の開始	9
録画時の画面表示	9
マイクのON/OFF設定	12
バッテリー残量アラート設定	12
ローカルバックアップ機能	13
ローカル録画モード	13
アップロードモード	14
6. 取り付け用クリップ/三脚アダプターの脱着	15
取り付け方	15
取り外し方	16
7. 映像を見ている人と通話する	16
発信する	16
着信する	16
終話する	16
通話モード	16
通話中にマイク設定を変更する	17
8. スナップショットを撮影する	17
9. 本体を充電する	18
クレードルで充電する	18
本体にDCケーブルを挿して充電する	18

10. メニュー画面について	19
メニューを開く/閉じる	19
メニュー画面内での操作方法	19
設定メニューの内容	20
カスタムキー設定	21
言語設定	21
11. Bluetoothデバイスと接続する	22
Bluetoothの有効化/無効化	22
Bluetoothデバイスと接続する	22
12. ネットワークを設定する	24
無線LANを設定する	24
ネットワークの自動選択	27
13. GPSを設定する	28
14. その他の操作	28
露出を補正する	28
白色LEDの点灯/消灯	28
ファームウェアをアップデートする	29
ディスプレイの点灯時間を変更する	30
デバイスの状態を確認する	30
ライセンスを確認する	30
15. 安全上の注意	31
故障かな?と思ったら	36
認証規格の表示	37
2.4GHz帯ご使用上の注意	37
5GHz帯ご使用上の注意	38
本製品に関するお問い合わせ	38

2. 製品概要

本製品はクラウド録画型のウェアラブルカメラです。撮影された映像は、ネットワークを介してクラウド上に録画されます。録画機能に加え、静止画をクラウドに保存する機能や、PC・スマートフォンアプリを介した双方向通話機能を備えています。



【本紙の説明範囲】

本紙の説明は上記の図中の本体側の操作方法を記載します。接続先のクラウドの仕様はお買い求め先までお問い合わせください。

3. お使いになる前に

本製品をお使いになる前に本章および「15.安全上の注意」をお読みください。

付属品の確認

開梱時、以下の付属品が入っていることを確認してください。

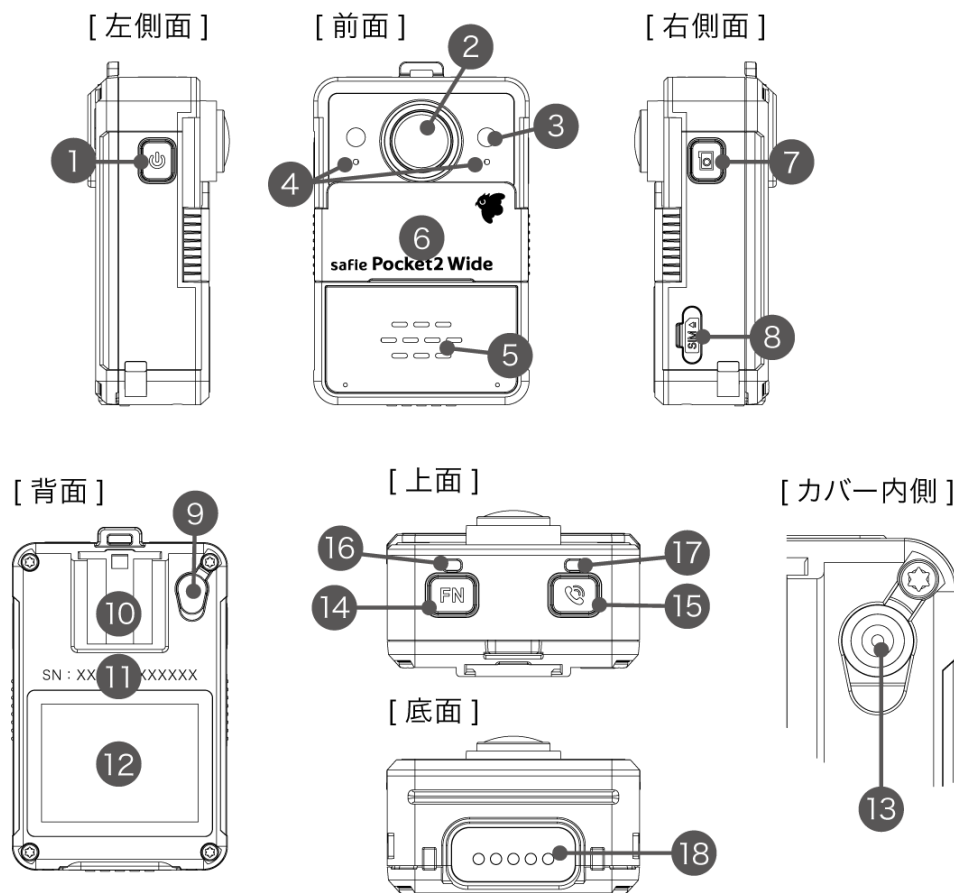
- Safie Pocket2 Wide 本体
- レンズ保護キャップ
- Bluetoothヘッドセット（※）
- 充電用クレードル
- ACアダプター
- DCケーブル×2
- USB AtoCケーブル
- 取り付け用クリップ
- 三脚用アダプター
- マウント用アダプター
- 保護フィルム（※）

- ストラップ (※)
- クリアポーチ (※)
- Safie Pocket2 Wide取扱説明書

※レンタルまたはお買い上げの販売店や提供形態（レンタル等）により同梱物に変更となることがあります。

各部の名称と役割

本製品の各部の名称を説明します。



番号	名称	役割
1	電源ボタン	短押：ディスプレイスリープ/復帰 長押：電源ON/OFF
2	レンズ	映像を撮影するためのレンズ
3	白色LED	撮影用LEDライト
4	内蔵マイク	カメラ本体のマイク※1
5	内蔵スピーカー	カメラ本体のスピーカー ※1
6	安全カバー	高温になる部分に手が触れないようにする

7	スナップショットボタン	短押：スナップショット撮影、設定メニュー画面の移動 長押：カスタムキー2 ※2
8	nano SIMスロット	nano SIM専用のSIMカードスロット
9	端子カバー	DCケーブルの挿入口
10	アタッチメントホルダー	同梱の取り付け用クリップおよび三脚用アダプターの装着箇所
11	シリアルナンバー	カメラ本体のシリアルナンバー
12	ディスプレイ	撮影している映像やデバイスのステータス閲覧
13	DCジャック	同梱のDCケーブルから給電する際の端子 ※3
14	FNボタン	短押：メニュー画面表示 長押：カスタムキー1 ※2
15	呼び出しボタン	短押：設定メニューの決定 長押：呼び出し動作
16	充電状態LED	充電の状態を示すLED
17	端末状態LED	端末の状態を示すLED
18	充電端子	同梱のクレードルから給電する際の端子

※1 Bluetooth機器接続時には内蔵マイク・スピーカーは利用できません

※2 カスタムキーは設定メニューでユーザーが任意でボタン機能を割り当てられます

※3 DCケーブルは根本までしっかり差し込んでください（差し込みが不完全の場合、浸水により故障の原因となります）

各LEDの状態表示

本製品の各部の名称を説明します。



充電状態LED（FNボタン側）

状態	意味
消灯	電源未接続
青点滅	電源接続中（充電中）
青点灯	電源接続中（充電完了）

端末状態LED（呼び出しボタン側）

状態	意味
黄点灯	カメラ起動中、スリープ状態
緑点滅	サーバー接続処理中
緑点灯	サーバー接続済み（録画中）
黄/緑点滅	サーバー接続済み（非録画）
赤/緑点滅	ファームウェアアップデート処理中 （電源を切らずに10分ほどお待ちください）
黄点滅	アクティベーション処理中 録画データ送信中（アップロードモード）
赤点滅	異常状態

製品仕様

本製品の各部の仕様は本節に記載のとおりです。

ハードウェア仕様

外形	高さ 84 mm x 幅 55 mm x 厚み 37 mm（レンズ突起部含む） 高さ 84 mm x 幅 55 mm x 厚み 30 mm（レンズ突起部含まず）	
重量	約 184g（バッテリー含む）	
画角	水平 180°垂直 180°	
有効画素数	映像	約 280 万画素
	スナップショット	約 280 万画素

暗部対応	白色 LED を任意に ON/OFF 可能
防水性能	IP67
動作周囲温度	-20~50℃（充電適正温度 0℃~35℃）
マイク	○
スピーカー	○
ホワイトバランス	○（自動）
映像回転	×
手ぶれ補正	×
デジタルズーム	×
映像出力	LTEもしくは無線LANによる伝送
映像圧縮方式	H.264
ディスプレイ	2 インチ LCDディスプレイ（H240 x W320）

無線仕様

無線LAN	○
SSID 登録上限	5 個
LTE	○
APN登録変更	レンタル出荷時の設定から変更不可
対応SIM	Soft SIM （NTTドコモ系MVNOのLTE回線を利用）
Bluetooth	○（HFP/HSP）
測位衛星システム	GPS/BeiDou

電源仕様

バッテリー容量	4200 mAh（取り外し不可）
バッテリー駆動時間	約 6 時間※
ACアダプター	DC5V/2A

※バッテリー容量と消費電力をもとにした理論値になります。実際のご利用環境や端末の設定、ご利用条件によって変動します。

4. 電源を入れる/電源を切る

電源を入れる

画面上に「Power On」が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。



電源を切る

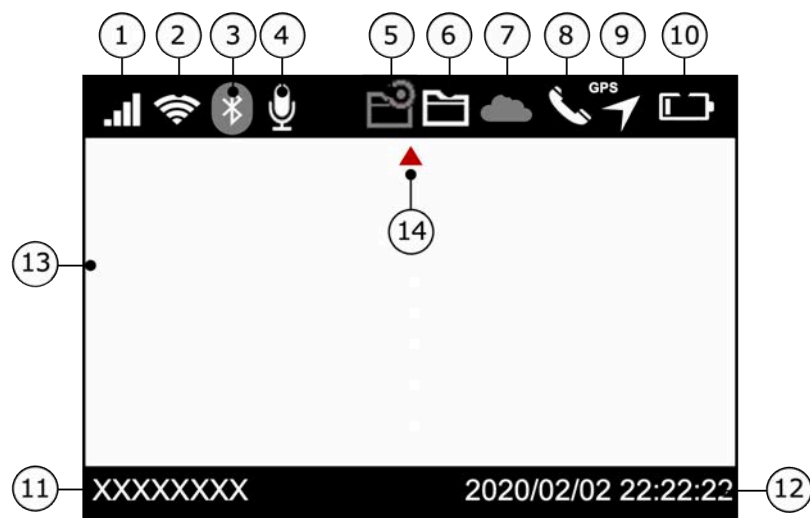
画面上に「Power Off」が表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。

5. 映像を録画する

録画の開始

本体の電源を入れると、自動的に録画が始まります。



録画時の画面表示



①LTE接続状況

OFF	SIMエラー ※1	モジュールエラー ※2	未接続

※1 SIMの故障や未挿入の場合こちらが表示されます。
 ※2 LTEモジュールの故障/不具合の場合こちらが表示されます。

接続済み	通信中
	



②無線LAN接続状況

OFF	未接続	接続済み	通信中
			

③Bluetooth接続状況

OFF	未接続	接続済み
		

④マイク設定

OFF	ON
	

⑤ローカル録画モード

OFF	ON (非撮影)	ON (撮影中)
		

⑥バックアップデータ

バックアップデータなし	バックアップデータあり	バックアップ中	アップロード中
			

⑦クラウド接続状況

未接続または 非ストリーミング	ストリーミング設定 OFF	接続中 (ストリーミング)
		






⑧通話状況

未接続	通話中
	

⑨GPS状況

OFF	未受信	受信済
		

⑩電池残量

極小 0～9%	小 10～39%	中 40～69%	大 70～89%	満充電 90～100%
				

⑪シリアルナンバー

本体の電源を入れると、自動的に録画が始まります。

⑫時刻

現在時刻を表示します。日本標準時（JST）が自動で取得されます。

⑬プレビュー画面

現在録画されている映像をプレビュー表示します。スナップショットを撮る際の映像確認や設置時の画角の調整の際にご確認ください。

⑭方向ガイド

方向ガイドが上を向くようにして撮影することで、正しい方向で録画することができます。

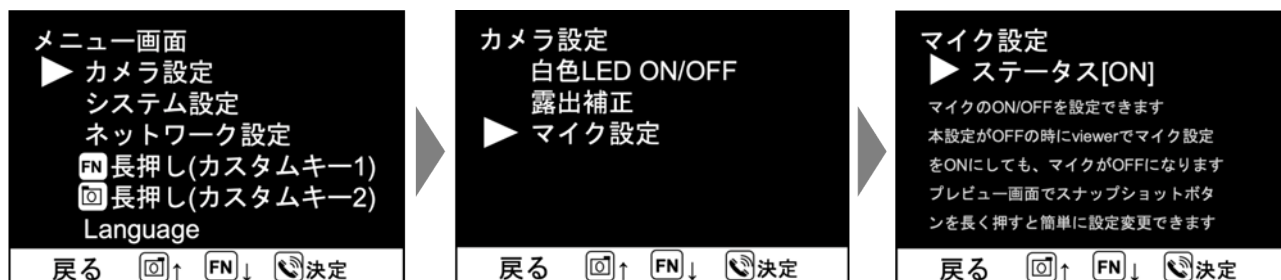
マイクのON/OFF設定

本体操作でマイクON/OFF設定をすることができます。カメラ本体のマイク設定がON、かつSafie Viewerのマイク設定がONの時のみ録音が可能です（下図）。

本体でマイク設定がOFFの時に、Viewerでマイク設定をONにしても、本体のマイク設定はOFFが維持されます（初期設定はマイク設定 ONに設定）。

カメラ本体のマイク設定	Safie Viewer (デバイス設定) マイク設定	録音有無
ON	ON	録音する
ON	OFF	録音しない
OFF	ON	録音しない
OFF	OFF	録音しない

設定の流れ



バッテリー残量アラート設定

バッテリー残量が少なくなった際のアラート通知のON/OFF設定ができます。

バッテリー残量アラートをONに設定した場合、バッテリー残量が10%以下になったときにポップアップ表示と音声による通知を行い、バッテリーの充電を促します。（初期設定はバッテリー残量アラート ONに設定）



ローカルバックアップ機能

ローカルバックアップ機能とは、カメラに電源が入った状態でネットワークが切断（※1）した際に、カメラの内部ストレージに映像を録画し、ネットワーク復旧後 内部ストレージに録画された映像をクラウドに自動でアップロードする機能です。（内部ストレージ内の映像はクラウドにアップロード後、自動で削除されます）

内部ストレージは約20GBの容量で、目安として約30時間分（※2）の保存が可能です。

※1 短い間隔で接続と切断を繰り返している場合には、正しく内部ストレージへ録画が保存されません。

※2 理論値です。ご利用の環境や映像の内容により変動します。

※ご注意ください※

- 映像のアップロードはネットワーク復旧後、しばらくしてから少しずつ行われます。

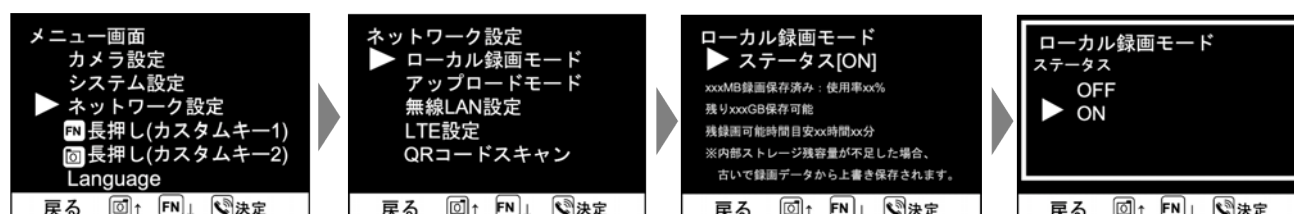
ローカル録画モード

ローカル録画モードを利用すると、本体の内部ストレージへ録画するローカル録画モードに設定変更できます。ローカル録画モード利用中は、クラウドへストリーム録画を行わない等、一部機能の利用制限が行われます。なお、内部ストレージに保存された録画データは、アップロードモードを有効にすることでクラウドへアップロードすることが可能です。

※ご注意ください※

- 内部ストレージ内の映像は暗号化されているため、アップロードが完了するまで閲覧することはできません。
- クラウドへストリーム録画を行わないため、リアルタイムに映像を確認することはできません。
- 通話機能を利用できなくなります。
- 内部ストレージの残容量が不足した場合、古いデータから上書き保存されます。

設定の流れ



アップロードモード

本体に保存された映像データをクラウドへ送信する機能です。

※アップロード中は、LIVE映像（リアルタイム映像）を見ることはできません。

【操作時の注意】 Safie Pocket2 Plusと操作方法が異なります（安全カバーは閉まりません）。以下の手順で、本体メニューから操作してください。

※ご注意ください※

アップロードモードがONの間は、以下の機能が利用できません。

スナップショットの撮影

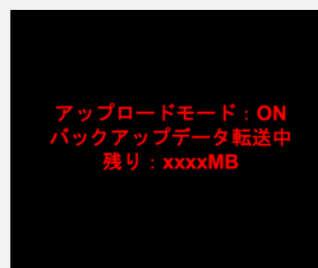


通話機能



LIVE映像は視聴できません

アップロードモード中はLIVE映像を視聴できません。画面にはバックアップデータの残量が表示されます。



アップロードモード中の録画について

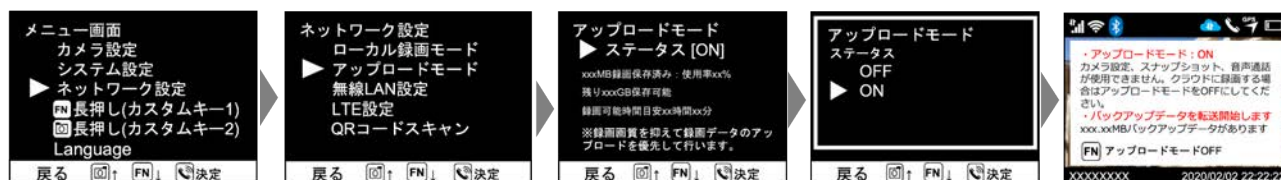
アップロードモード中は、データの転送を優先するため、録画画質が制限されます。

- 解像度：1920 × 1920
- フレームレート：設定メニューでの設定値に準ずる
- ビットレート：128kbps

※アップロードモードを終了（解除）すると、撮影した映像を本来の画質で視聴できるようになります。

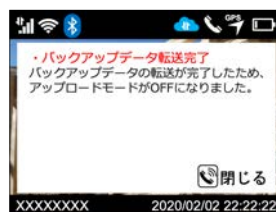
設定の流れ

【操作時の注意】 Safie Pocket2 Plusと操作方法が異なります（安全カバーは閉まりません）。以下の手順で、本体メニューから操作してください。



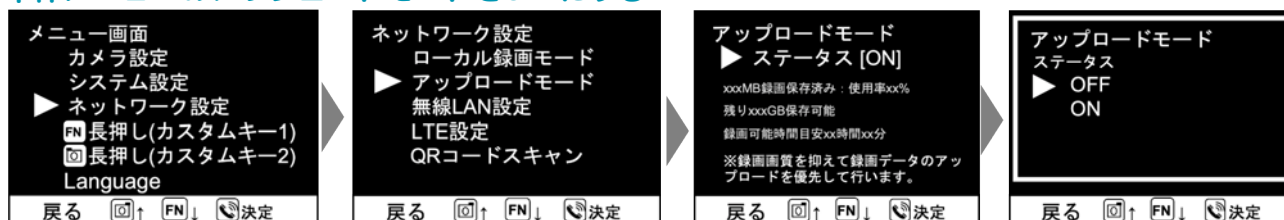
アップロードモードの解除

バックアップデータのアップロードが完了すると、アップロードモードは自動的に終了します。



アップロードを中断するには、以下の操作でアップロードモードをOFFにします。

本体メニューのアップロードモードをOFFにする



アップロードモード：ONが表示されているときにFNボタンを押下する



6. 取り付け用クリップ/三脚アダプターの脱着

取り付け方

本体背面のアタッチメントホルダーに、同梱の取り付け用クリップや三脚アダプターを取り付けることが可能です。装着物をスライドさせて「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。
(図は三脚アダプターの例です)



※ご注意ください※

挿し込みが不十分だと利用中にはずれて落下し、けがや故障の原因になります。必ず奥までしっかり挿し込んでご利用ください。

取り外し方

アタッチメント上部のタブの部分（右図の丸で囲った箇所）を手前に倒しながら、アタッチメント全体を上を押上げてください。



7. 映像を見ている人と通話する

本製品では、クラウドを介して映像を視聴している複数人と通話することができます。本章では、通話に際しての発信、着信、終話および通話モードについて説明します。

発信する

本体上部の呼び出しボタンを約1秒押すとクラウド側に対して発信します。クラウド側が応答すると通話が自動的に開始します。

約10秒間呼び出して応答が無かったら本体からの発信を中止します。



着信する

クラウド側から本体に発信が入ることがあります。「トゥルルル」と言う呼び出し音の後に、自動的に通話が開始されます。

終話する

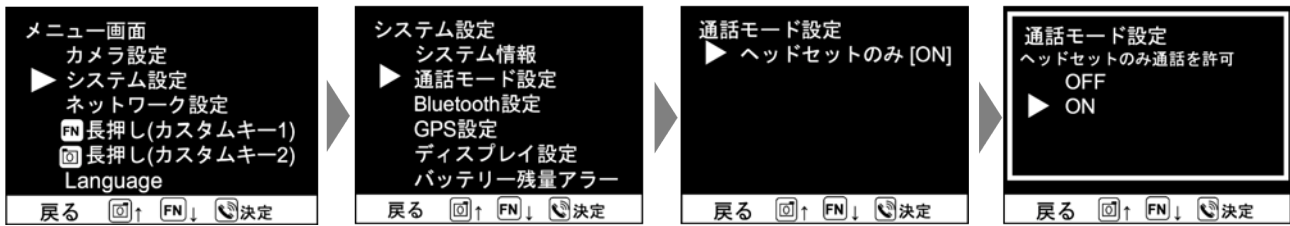
通話中の状態で呼び出しボタンを約1秒押すと「ツー、ツー」と言う音の後に終話します。

通話モード

メニュー画面からヘッドセット/イヤホン未装着時にクラウドからの通話を拒否する「通話モード」を設定できます。「ヘッドセットのみ」の状態を有効にするとヘッドセット未接続時にはクラウドからの着信を拒否することができます。予期せぬ着信により、クラウドからの発声が周囲に聞こえてしまうことを防止します。

※初期設定はヘッドセットのみOFF（ヘッドセット未接続時にも着信許可する状態）になっています。

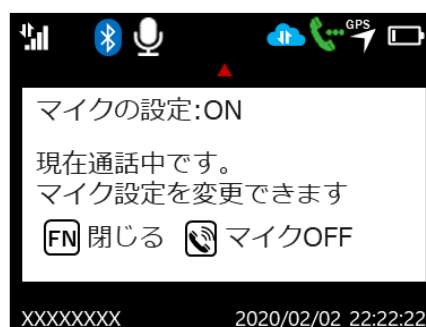
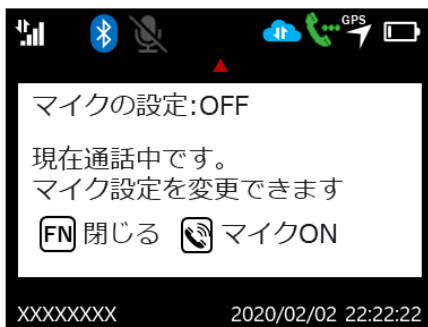
設定の流れ



通話中にマイク設定を変更する

通話開始時、プレビュー画面にマイク設定のポップアップが表示されます。ポップアップが表示された状態で、呼び出しボタンを押すと、マイクの設定を変更することができます。FNボタンを押すとポップアップ表示が閉じます。

マイク設定のポップアップ表示



8. スナップショットを撮影する

映像を録画中の状態で本体側面のスナップショットボタンを押してください。
スナップショットの撮影に成功すると本体から電子音がかかります。
撮影したスナップショットには位置情報や撮影したデバイス情報が付与されます。また、撮影したスナップショットはクラウドから参照可能です。



※位置情報の参照※

撮影した写真の位置情報はダウンロードした端末からプロパティを参照したり、専用のツールで開くことで確認できます。

9. 本体を充電する

本体の充電には、同梱の充電用クレードルを利用する方法と本体にDCジャックを挿して充電する方法の2通りあります。バッテリー劣化の原因になるので充電完了後は速やかに充電を終了してください。

クレードルで充電する

クレードルとの接続

同梱のクレードルにDCケーブルを接続し、クレードルに本体を「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。

クレードルに接続後、充電状態LEDが青色で点滅したら正しく充電されています。本体の充電が完了したら青色点滅→青色点灯に変化します。



クレードルからの取り外し

本体をクレードルから取り外す際は、クレードルをしっかりと持って本体を手前（レンズ側）に倒してください。本体を後ろに倒したり、無理に上に引っ張ると破損や故障の原因になるのでご注意ください。



本体にDCケーブルを挿して充電する

端子カバーを開け、DCケーブルをDCジャックに接続してください。DCジャック給電とクレードル給電を同時に行わないでください。バッテリーパックの劣化、火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。

DCケーブルのUSB Type-Aコネクタ部は防水性能が無いため濡らさないでください。

DCケーブルと端子カバーが密着する（隙間がない状態）まで、DCケーブルを押し込んでください。差し込みが不完全の場合、浸水により故障の原因となります。



10. メニュー画面について

本製品は、本体のネットワークの設定や設定状況を参照するためのメニュー画面を持っています。本章では、メニュー画面の表示方法やその中の各メニューの意味、ボタンに任意の機能を割り当てることができるカスタムキーについて説明します。

メニューを開く/閉じる

メニューを開く

メニュー画面を表示するにはディスプレイ点灯中にFNボタンを押してください。






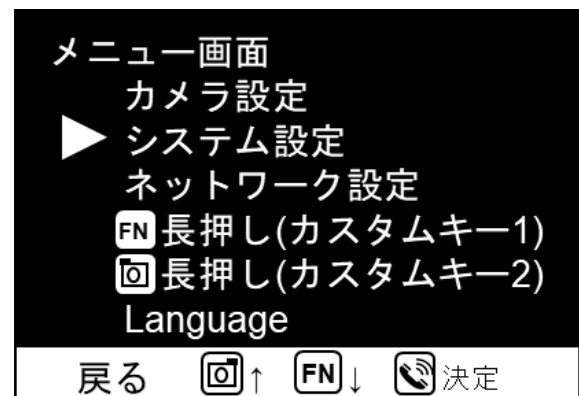
メニューを閉じる

メニュー画面のトップで「戻る」を選択、もしくはFNボタンの長押しでメニュー画面を閉じることができます。

メニュー画面内での操作方法

メニュー内では、本体の各ボタンを押して操作します。



ボタン	役割
	カーソルを上に移動します。
	カーソルを下に移動します。
	カーソルで選択している項目を確定します。



設定メニューの内容

メニュー画面内、各メニューの役割は下表のとおりです。詳細な使い方は関連する章の説明をご参照ください。

カメラ設定	白色LED ON/OFF	カメラ前面の白色LEDをON/OFFできます。
	露出補正	撮影時の露出を補正します。
	マイク設定	マイクのON/OFF設定をします。
システム設定	システム情報	端末の温度やバッテリー残量、ファームウェア情報やMACアドレスを参照できます。
	通話モード設定	クラウドからの着信時に、ヘッドセット未接続時に着信を応諾するかの設定が行えます。
	Bluetooth設定	通話時に利用するBluetoothヘッドセット/スピーカーの追加や削除が行えます。
	GPS設定	GPS機能の有効/無効を設定します。
	ディスプレイ設定	ディスプレイが自動的にOFFするまでの時間を変更します。
	バッテリー残量アラート	バッテリー残量が少なくなった際のアラート通知のON/OFF設定ができます。
	ファームウェア更新	現在のファームウェア情報の参照や新しいファームウェアへのアップデートが行えます。
	ライセンス	本端末に関する技適やライセンスに関する情報を表示します。
ネットワーク設定	ローカル録画モード	本体の内部ストレージへ録画するローカル録画モードに設定変更できます。
	アップロードモード	ローカル録画で撮影したデータを撮影中の映像の伝送よりも優先してアップロードします。
	無線LAN設定	無線LANの管理および任意のSSIDに対して優先設定を行えます。
	LTE設定	LTE通信のON/OFFができます。尚、APNは固定されており、変更することはできません。

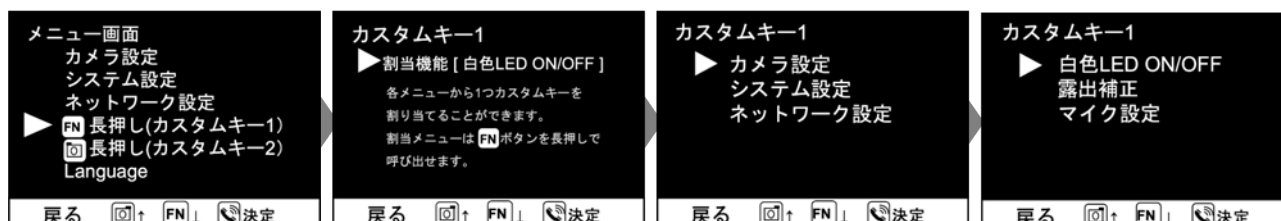
	QRコードスキャン	QRコードを読み込むことで無線LANのSSID/パスワードの登録を行えます。
 長押し (カスタムキー1)		FNボタン長押しにユーザー任意でショートカットボタン機能を割り当てられます。
 長押し (カスタムキー2)		スナップショットボタン長押しにユーザー任意でショートカットボタン機能を割り当てられます。
Language		日本語・英語・タイ語・ベトナム語から言語設定を選べます。

カスタムキー設定

本製品は、スナップショットボタン長押し、FNボタン長押しにユーザー任意でショートカットボタン機能を割り当てられます。

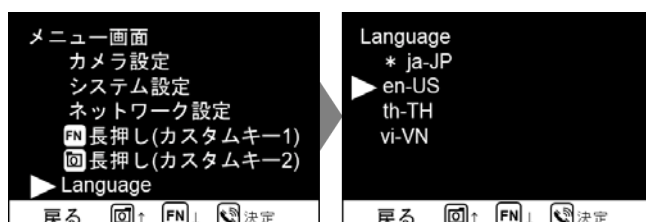
カスタムキーに使用頻度の高い設定画面を割り当てることで、ワンタッチでその画面を呼び出せるので、ボタン操作の回数を減らすことができます。

初期設定はFNボタン長押し (カスタムキー1) に白色LED ON / OFF、スナップショットボタン長押し (カスタムキー2) にマイク設定が割り当てられています。



言語設定

ディスプレイ内で表示する言語を、日本語 (Ja-JP) ・英語 (en-US) ・タイ語 (th-TH) ・ベトナム語 (vi-VN) から選択設定できます。* (アスタリスクマーク) が付いている言語が現在選択されている言語です。



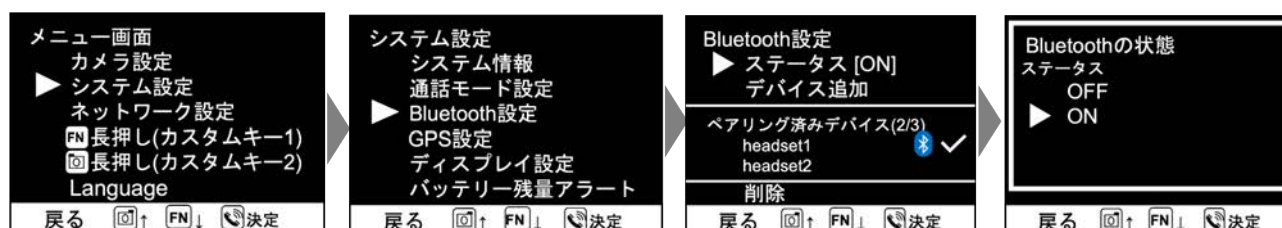
11. Bluetoothデバイスと接続する

本製品は、本体に内蔵のスピーカー、マイクのほかに外部のBluetoothデバイスによる音声の入出力が可能です。本章ではそれらとの接続方法について説明します。

Bluetoothの有効化/無効化

Bluetoothデバイスを接続してご利用する場合、本体のBluetooth機能を有効にする必要があります。システム設定画面の「Bluetooth設定」>「ステータス」の画面から設定してください。（初期設定はBluetooth設定ONに設定）

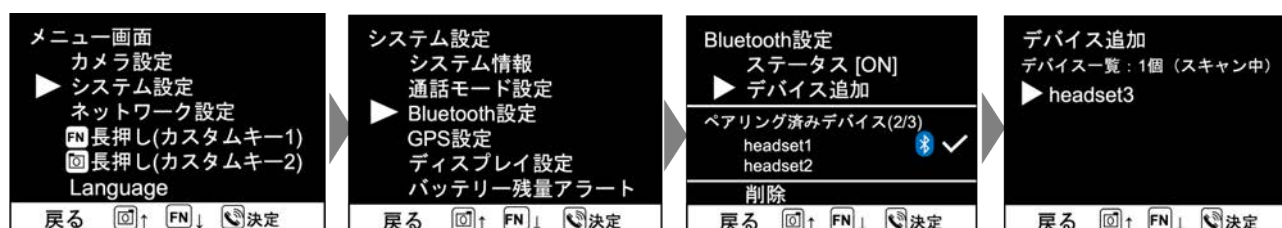
設定の流れ



Bluetoothデバイスと接続する

Bluetoothデバイスとのペアリング

システム設定画面の「Bluetooth設定」>「デバイス追加」から登録してください。デバイス追加画面に入ると付近のBluetoothデバイスを自動的に検索します。検索された各端末の中から接続したいデバイスを選択してください。なお、ヘッドセットは最大で3つまで登録可能ですが、同時に複数接続はできません。



※ご注意ください※

デバイスを追加する際はBluetoothデバイス側をペアリングモードに設定してください。設定の方法は機種によって異なるので、ご利用するBluetoothデバイスの取扱説明書をご参照ください。

接続するヘッドセットを変更する

ペアリング済みのBluetoothデバイスが複数ある場合、「Bluetooth設定」の画面から接続するBluetoothデバイスを選択することができます。



ペアリング済みデバイス欄について

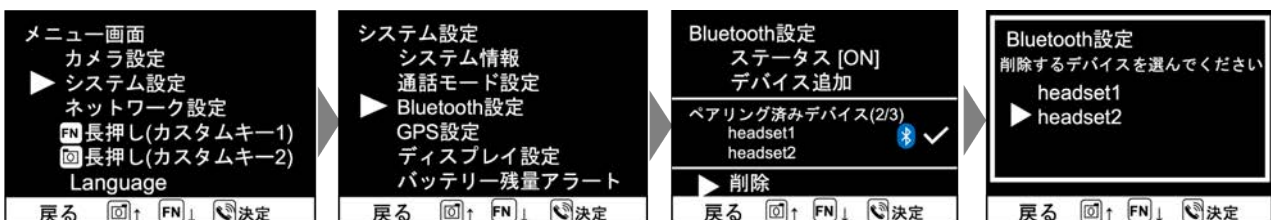
ペアリング済みデバイスの一覧には、Safie Pocket2 Wide本体がペアリングしているBluetoothデバイスの一覧が表示されます。Bluetoothデバイス名の横にある各マークの意味は以下のとおりです。

	該当するBluetoothデバイスが付近に存在していて、接続可能であることを意味します。
	該当するBluetoothデバイスと接続していることを意味します。

ヘッドセットのペアリング情報を削除する

ペアリング後、ご不要になったヘッドセットの情報は削除することができます。メニュー画面を開いて、「Bluetooth設定」>「削除」の画面から削除したい機器を選択してください。

削除の流れ



動作確認機種

Bluetoothヘッドセット/スピーカーの動作確認機種はそれぞれ以下のとおりです。

Bluetoothヘッドセット

メーカー	品名
Plantronics	Explorer 100
Jabra	Jabra TALK25
クロスブレイン	MS-HS01B

Bluetoothスピーカー

メーカー	品名
Jabra	Jabra SPEAK 510
SONY	SRS-XB13 / SRS-XB01

※ご注意ください※

Bluetoothヘッドセットと接続中の場合、Bluetoothヘッドセットのマイク/スピーカーが優先されます。

12. ネットワークを設定する

本製品ではクラウドと接続するためのネットワークとして、LTEによる接続と、無線LANによる接続の2種類が利用できます。

LTEによる接続は、出荷時に設定情報が固定されており、設定変更することはできません。本章では、無線LANのネットワーク情報の登録や設定の方法を説明します。

なお、本製品では無線LANのネットワーク設定を登録する際には専用のWebページでQRコードを生成し、本体でそのQRコードを読み込む必要があります。登録の際にはWebページを開くためのPCやスマートフォンを事前にご用意ください。

無線LANを設定する

LTEの電波が入らない場所や不安定な場所は無線LANによりクラウドに接続することができます。本製品ではQRコードを読み込むことで無線LANの接続情報の設定を行います。

設定用のQRコードを生成する

設定情報の確認

ご利用予定の無線LANの以下の情報を確認してください。ご不明な場合はお客様のネットワーク管理者様にご確認をお願いします。

- SSID
- パスワード
- ステルスモードの有無

QRコードの生成

以下のページにアクセスして、確認した無線LANの接続情報を入力してください。必要な情報を入力後、ページ下部の「QRコード生成」のアイコンをクリックするとアイコン下にQRコードが表示されます。

▼ネットワーク設定用Webページ

<https://safie.link/app/network/pocket2>



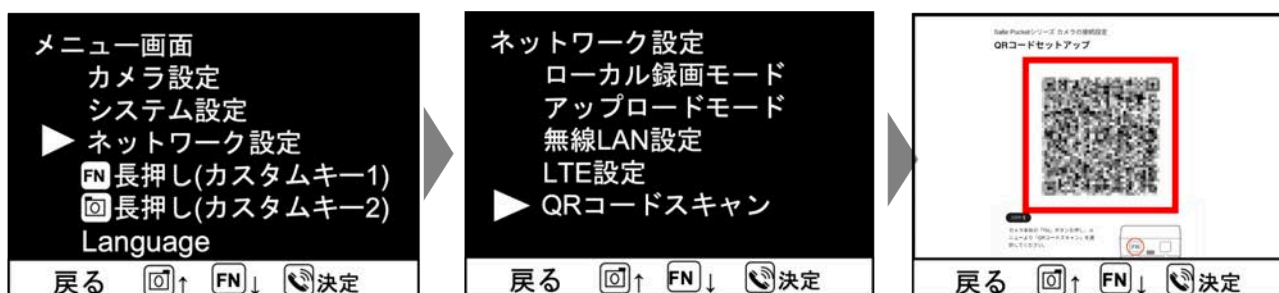
図 設定用Webページ画面サンプル

QRコードを読み込む

本体のネットワーク設定画面内、「QRコードスキャン」の画面で、前項で生成したQRコードを読み込みます。

読み込みの流れ

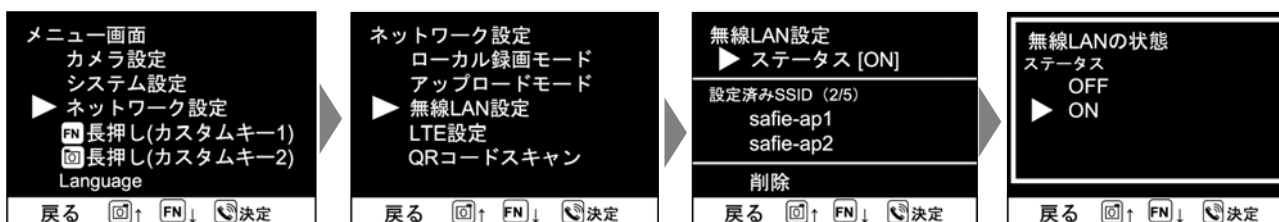
「QRコードスキャン」の画面を開くとプレビュー画面に赤枠が表示されます。画面を見ながらQRコードが画面内の赤枠に収まるように本体を動かして調整してください。読み込みが完了すると自動的に本体に情報が登録されます。



無線LANを利用する

無線LANを利用するには、無線LANの設定を有効にする必要があります。ネットワーク設定画面内の「無線LAN設定」>「ステータス」から無線LAN設定をON（有効）に設定してください。

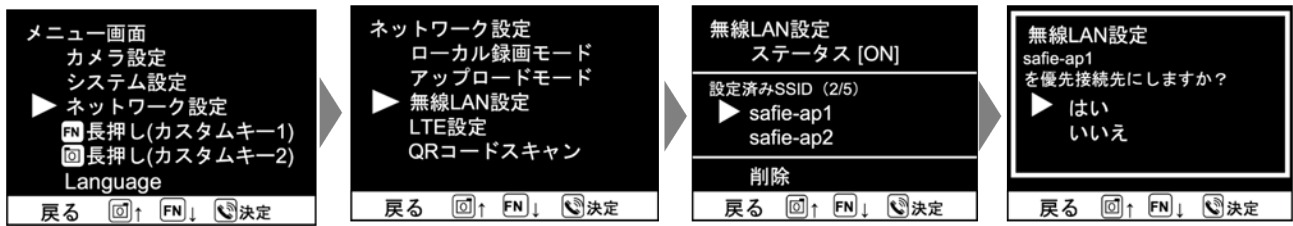
無線LAN有効化の流れ



優先設定する

本製品では、無線LANが複数ある環境下などで、特定の無線LANを優先的に利用できるように優先設定の機能があります。優先設定はネットワーク設定画面内の「無線LAN設定」から行います。

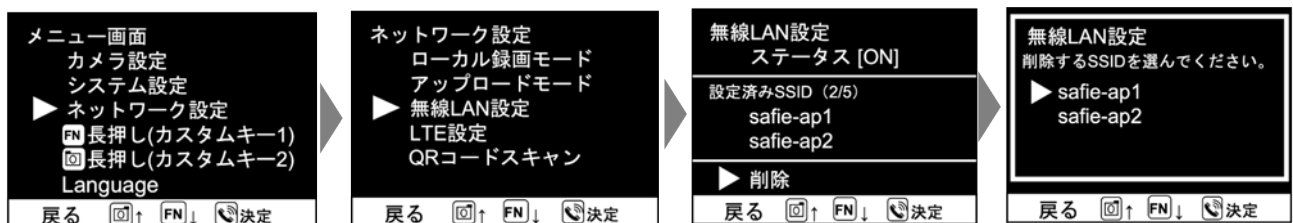
優先設定の流れ



設定した情報を削除する

登録した無線LANの情報が不要になった場合、ネットワーク設定画面内の「無線LAN設定」>「削除」から削除が可能です。

削除の流れ



※接続中の無線LANの情報は削除できません。削除するには先に接続を解除してからお試しください。

ネットワークの自動選択

本製品は、現在接続中のネットワークが切断した際に既定の優先順位に基づき別のネットワークに自動で再接続します。優先順位は以下のとおりです。

優先順位	ネットワーク
高	LTE
中	無線LAN（優先設定）
低	無線LAN（非優先設定）

※ご注意ください※

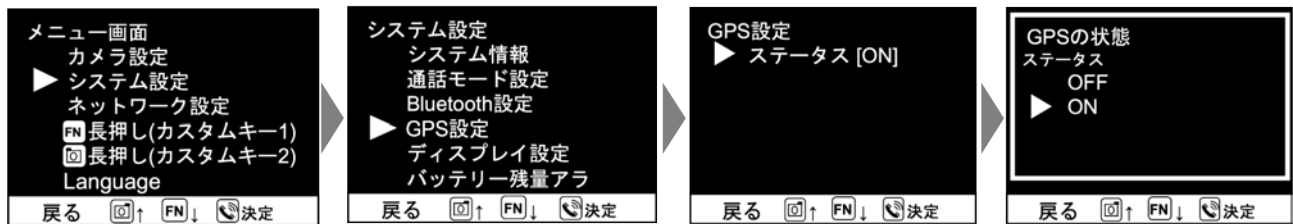
- 設定がOFFになっていたり、設定がONでもそのネットワークに接続できない場合（圏外など）はその次に優先順位の高いものが選択されます。
- 非優先設定の無線LANで候補が複数ある場合は電波強度が最も高いものが優先されます。

13. GPSを設定する

本製品は測位衛星システムから位置情報を取得することが可能です。位置取得すると、クラウド側で端末の位置の把握や、撮影するスナップショットに対して取得した位置情報を埋め込むことができます。本章ではGPSの有効化/無効化の方法について説明します。

※GPSを有効化（ONの状態）することで、上記のクラウド側での参照やスナップショットへの情報付加は自動的に行われます。

設定の流れ



14. その他の操作

露出を補正する

映像の露出を補正する機能を搭載しています。ご利用の環境に応じて露出補正することで、映像の白飛びの抑制や暗所での利用時には映像全体を明るくする調整がされます。（初期設定は[やや暗くする]に設定。露出補正の設定は、Safie Viewerからも設定可能です。）

設定の流れ



白色LEDの点灯/消灯

周囲が暗い環境でも、本体レンズ横にある白色LEDを点灯させることでカメラ周辺を明るく照らし撮影することが可能です。白色LEDの点灯/消灯の切り替えは、本体のメニュー操作およびSafie Viewerから行えます。

設定の流れ

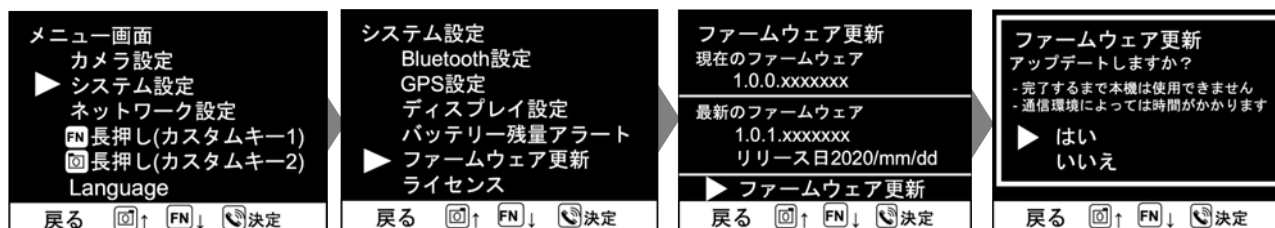


白色LED ON/OFFにカーソルをあわせて決定を押すことで白色LEDの点灯、消灯を切り替えられます。

ファームウェアをアップデートする

本製品はクラウドから最新のファームウェアを取得することができます。ファームウェアのバージョンアップには新機能や不具合修正が含まれますので、常に最新のバージョンをご利用いただくようお願いいたします。

ファームウェアアップデートの流れ



※上記3つ目の画面で、「ファームウェア更新」の項目が無ければ端末のファームウェアは最新の状態で

※ご注意ください※

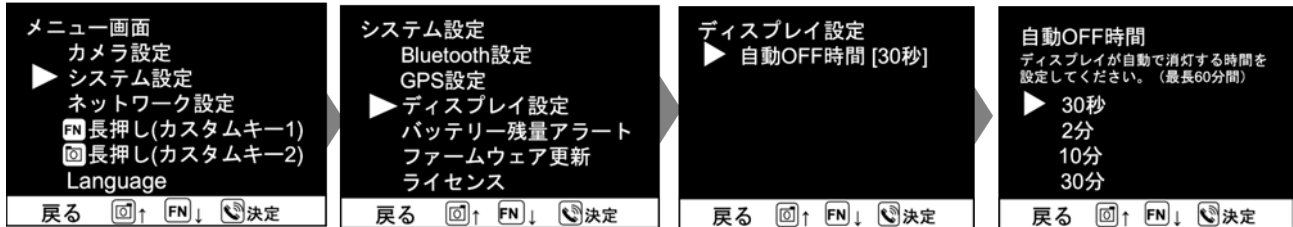
最新のファームウェアが配信されると、本体起動時に以下のような画面が表示されます。通話ボタンを押下で上記のファームウェア更新画面に遷移します。FNボタンを押下でキャンセルされます。



ディスプレイの点灯時間を変更する

本製品は背面ディスプレイの点灯時間を変更することが可能です。ディスプレイを見ながら作業する時間が長い場合は設定を変更のうえご利用ください。

ディスプレイ変更時間変更の流れ



デバイスの状態を確認する

本製品の本体温度や現在のファームウェアのバージョン、本製品のMACアドレスを参照できます。メニュー画面の「システム情報」からご確認ください。

確認の流れ



ライセンスを確認する

本製品の技適への適合状況や利用しているライセンスの情報はメニュー画面内の「ライセンス」から参照できます。




確認の流れ








15. 安全上の注意

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

危険

使用環境・条件



引火、爆発のおそれがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながら本製品を操作（通信）するのはおやめください。
安全な場所へ車を停車させてから操作（通信）してください。

バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックは下記のことをお守りいただけない場合、けがやバッテリーパックの漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。



バッテリーパックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れしないでください。



本体に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



付属のクレードル、ACアダプター、DCケーブル、推奨されたモバイルバッテリー以外では充電しないでください。推奨モバイルバッテリーは、弊社ホームページ等でご確認ください。また、クレードルを水気のある場所で使用しないでください。



充電は適正な温度範囲（0℃～35℃）外でおこなわないでください。



バッテリーパックを本製品以外に取付けないでください。



火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。



濡れた本製品とバッテリーパックを充電しないでください。火災や感電の原因となります。



端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。



液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠ 警告

使用環境・条件



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での本製品の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。



本製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

使用方法について



オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因となります。



エアバック装置の近くに本製品を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たって怪我をすることがあります。



機械に巻き込まれるおそれのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。



本製品の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



高温になる場所（火や暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、怪我の原因となります。



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。



DCジャック給電とクレードル給電を同時に行わないでください。
バッテリーパックの劣化、火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。

異常の処理について



内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。



煙が出たら、すぐに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店もしくはサポート窓口にご連絡ください。



雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。

保守・点検



本製品のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

使用環境・条件



テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。



直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



DCケーブルの本体挿入時など、端子カバー、nanoSIMスロットが開いた状態で水気のある場所では利用しないでください。浸水して故障の原因になります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。



本製品や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

使用方法について



安全カバーの内側の金属部には触れないでください。金属部が高温になる場合があります。直接触れるとやけどの原因となります。危険ですから絶対におやめください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本体の内部にご注意ください。破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



長期間使わないときは、電源を切ってください。



お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。



ヘッドセットやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。



充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。



充電は周囲の温度が0℃～35℃の室内で行ってください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となる可能性があります。



満充電された状態で、継続充電はしないでください。バッテリーパックの劣化、火災、やけど、けが、感電、故障などの原因となります。

付 録

故障かな？と思ったら

本機に故障の疑いがある際にはまずこちらをご確認ください。

症状	原因	処置
電源が入らない	充電が切れています。	十分に充電してご利用ください。
手元のカメラ側で音声が聞こえない	ペアリングしているヘッドセットの音量が小さい。	ヘッドセットの説明書を参照のうえ、音量を上げてください。
映像を閲覧しているパソコン側で音が聞こえない	マイク・スピーカー音量設定が小さいか、ミュートになっています。	クラウド側のマイク・スピーカーの音量設定が小さくなっているか、ミュートになっている可能性があります。クラウド側の音量を確認してください。
音が伝わらない (音声がクラウドに届かない)	マイクの音量設定が小さいか、ミュートになっています。	クラウド側のマイクの音量設定が小さくなっているか、ミュートになっている可能性があります。クラウド側の音量を確認してください。
クラウドに繋がらない	ネットワークに問題があります。	プレビュー画面のLTE/無線LAN接続状況を確認のうえ、ネットワークが接続されているか確認してください。
APN情報は正しいのにLTEが繋がらない	LTEモジュールが起動時にエラーを起こした可能性があります。	再起動をお試しください。何度か再起動しても復帰しない場合は故障の可能性があるため、お買い求めの代理店もしくはサポート窓口にご相談ください。

APN情報やSSIDが削除できない	内部的なエラーです。	本体を再起動して、再度お試しください。
Bluetoothデバイスとペアリングできない	接続時のエラー、もしくはBluetoothデバイスがペアリング状態でない可能性があります。	Bluetoothデバイスがペアリング状態になっていることを確認して、もう一度お試しください。
QRコードが読み込めない	無効なQRコードの可能性があります。	専用ページから作成されたQRコードか確認して、もう一度お試しください。
QRコードで読み込んだ情報が保存できない	内部的なエラーです。	本体を再起動して、再度お試しください。
ファームウェアが更新できない	ネットワークエラー、もしくは内部的なエラーの可能性があります。	ネットワークの接続状況を確認してください。エラーが繰り返し表示される場合はお問い合わせの代理店もしくはサポート窓口にご相談ください。

認証規格の表示

- 本端末は、電波法並びに電気通信事業者法に基づく技術基準に適合しています。以下の方法で右記の技適マークおよび認証番号を画面に表示することができます。
- 「メニュー画面」>「ライセンス」の中にある下記マークを参照ください。



2.4GHz帯ご使用上の注意

- 本端末のBluetooth機能および無線LAN機能は2.4GHz帯を仕様します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の免許を要する構内無線局および免許を要しない特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局（以下、総じて「ほかの無線局」という）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに仕様周波数を変更するかご利用を停止してください。
 3. その他、ご不明な点やお困りごとが起きた場合はお問い合わせの販売店、もしくは本紙に記載のサポート窓口までお問い合わせください。

5GHz帯ご使用上の注意

- 本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を使用することが可能です。
 - 5.2GHz 帯（W52 / 36、40、44、48ch）
 - 5.3GHz 帯（W53 / 52、56、60、64ch）
 - 5.6GHz 帯（W56 / 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）
- 本端末に内蔵の無線 LAN を 5.2GHz/5.3GHz 帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは以下のサポート窓口、もしくはお買い求めの販売店までご連絡ください。

セーフィーサポート事務局

メールアドレス：support@safie.jp

受付時間：月～日曜 終日

対応時間：月～金曜 10:00～17:00 ※当社指定休業日を除く